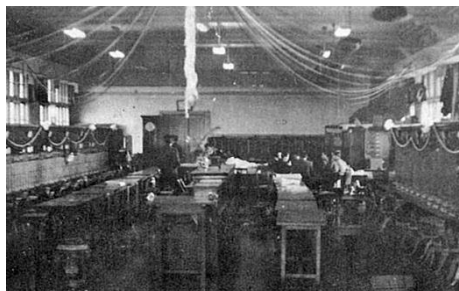
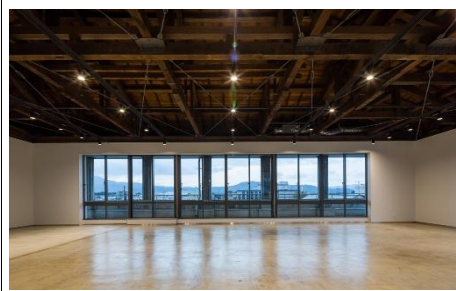


■After		西陣産業創造會館		
建築名称		Nishijin Business Incubation Center		
下段:英語名		西陣産業創造會館URL		
建築用途		大分類 事務所	小分類 シェアオフィス	
設計者		NTTファシリティーズ一級建築士事務所 2Fテナント内装 株式会社CUP		
所在地		京都府京都市上京区甲斐守町97		
改修年		2016年	元建築の竣工年 1921年	
建築規模		延床面積:4,738.60㎡		After
構造・階数・面積		構造規模:RC造一部木造、地上3階		
掲載書誌		新建築2019年3月号		
賞・選定		・DOCOMOMO Japan選定、・2017年 第5回京都建築賞入選、・2018年 日本インテリアプランニングアワード2018入選		撮影者 提供者
主な関連法規、条例、助成金 等				概要 after
関連組織 等				
資料等		改修箇所説明図	資料のURL	電話をつなぐ電話局としての機能が失われた既存の空間に新たな価値を見出し、建築の文化遺産としての価値を継承し、人と人をつなぐ場を創出。
■Before		京都中央電話局西陣分局舎		概要 before
建築名称				
建築用途		大分類 その他	小分類 電話局	
■写真		西陣電話局時代の電話交換室『西陣電話局 60年のあゆみ』より	After 2階の元電話交換室。配線用の二重床を撤去し段差を付けたコワーキングスペースに	After 交換手の食堂・休憩等で使用されていた3階は木造の小屋組みを露出した事務室に
Before				
撮影者 提供者		提供:NTTファシリティーズ	撮影者 提供者 桐原武志 2026年撮影	撮影者 提供者 提供:NTTファシリティーズ
■関連タグ／リノベーションキーワード		用途変更、痕跡、アート、		
■リノベーション内容		《NTTファシリティーズ一級建築士事務所ウェブサイトより引用》・1921年、逓信省技師 岩元禄によって設計された重要文化財の電話局をコワーキングスペースとして活用しました。3階は約100年前の木造小屋組みを露出させると共に天井面のブレースによる耐震改修を行い、外観と京都の山並みの眺望を保存しています。2階は以前、電話交換室であり配線用に高さ450mmの二重床が設置されていましたが、これを床スラブまで部分的に下げ、床レベルの差を活かして緩やかに仕切られる広場のような共働スペースとしました。各階ともにこれまで隠れていた建物の成り立ちの一部を表出させることで、電話局の歴史の重層性が感じられる空間となっています。電話をつなぐ電話局としての機能が失われた既存の空間に新たな価値を見出し、人と人をつなぐ場を創出しました。 ・アートパネル・・正面壁面と軒裏に取り付けられていた踊り子を浮き彫りにしたモルタルのパネルは一旦取り外し、記録として3Dスキャンをした後、洗浄と補修を行い、新たな取付金物にて元の位置に取り付けられている。		
■備考		外観で印象的な太い丸柱は、構造柱の周囲に煉瓦を積みモルタルで仕上げ太い柱にしている。3階の丸柱は、木の柱をモルタルで覆い、RCの様な丸柱としている。		
■作成者 氏名／所属		桐原武志 Free／JIA再生部会		作成協力者
				NTTファシリティーズ一級建築士事務所
				整理番号
				No 263